

入学者選抜における配慮事項の一例

障害の種別等	入試での主な配慮事項
視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> ○別室での受検 ○ルーペ等の使用 ○問題用紙・解答用紙の拡大（122%、144%）
聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> ○別室での受検又は、座席位置への配慮 ○FM マイク使用 ○補聴器の使用 ○リスニング時のCDデッキ使用
肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ○車椅子の使用 ○杖の持ち込み ○車での送迎（正面玄関まで） ○車椅子で可能なトイレの使用及び介助
病弱・身体虚弱	<ul style="list-style-type: none"> ○別室での受検 ○検査中の水分補給 ○検査中の服薬 ○帽子の着用 ○保護者の別室待機
情緒障害	<ul style="list-style-type: none"> ○面接においての配慮
学習障害（LD） 読字障害・書字障害 発達性ディスレクシア 自閉スペクトラム症 注意欠陥多動障害（ADHD）	<ul style="list-style-type: none"> ○別室での受検 ○問題用紙・解答用紙の拡大（122%、144%） ○問題文の読み上げ ○色のついた用紙を使用 ○事前に学校見学
不安神経症（パニック障害）	<ul style="list-style-type: none"> ○別室での受検